THE INTERIOR ISSUE
クリエイターが愛する部屋
〜総勢50名のインテリア大公開!〜

news! THE NORTH FACE × HYKE
入り口

地下

ビル全体がアート品！

進化を続けるアトリエ空間

アーティスト集団 Chim↑Pomのアトリエは表参道・原宿表参道に存在。表参道表参道の歴史も深い。近年ではインディペンデンントな音楽やイロハや、カクテルバーと表参道に新しくオープンしたアートプロジェクトも存在。ビルの最上階に存在するアトリエは、表参道のアートシーンを代表する存在として知られている。
ギャラリーの裏は制作スペース。大きな作品の一部がここで制作されている。現在は近くにあった雑貨店でのビーエンワークへの出演作品を作成中。

1F：ギャラリー & 作業場

入って左手に位置するギャラリー「Garter」。2015年より「アーティストランスペース」としてChimPomキュレーションの展示が開催されている。

ここでは友達と飲むのは、大体飲み方と相手方で、ビルの地下にコタツを作って座りたり、バーベキュしたり、懐の場としても使うアトリエ。

ビルの外壁には、美術館の白い壁をパズルピースとして分解し、同じ形に再構成した壁と交換するプロジェクト『It's The Wall World』（2014）の一環が。

もともとあった2つの家屋。その間の通に薪倉をかぶせるように、ひとつの部屋に改築されたというキョウヨウビル。「通」の上にも作業が進行中だ。

オーブンスペースで、ChimPomは今日も新たな驚きを生み出している。
2F: OPEN SPACE

「あったかい手塚はこのハンドビックでよく寝れるし、誰でも好きな音楽を聴ける。座る場所も工夫が加えられている。」

知り合いの画廊の人が休んでいると、いったんアトリエ空間に訪れるだろう。これを除くサッカーをリフレッシュする。
Chim↑Pomの最近をご紹介！

キタコレ改装中のひとコマ！？

昨年【Chim↑Pom通り】の間にあたり行われたライヴイベントはゲストで大盛況。それに続く『Asian Art Biennial 2017』では、【Chim↑Pom通り】の進化形ともいえる巨大な「道」を発表しました。

イベント「東京でストーリー」ではマヒト・ザ・ピーバー、Jan and Naomiなどがパフォーマンス。
Photo: Yuki Maeda ©Chim↑Pom Courtesy of the artist

キタコレの改装計画にあたり作られた建築模型。「がっつり改装して今の状態になったので、しばらくはこのままキープかな」（エリカ）